

防止隊だより 令和 8 年 3 月号

特集：会員研修会兼カーボンニュートラル貢献施設見学会を開催しました！
イベント紹介：再発見！環境フォトコンテスト
2026

特集：会員研修会兼カーボンニュートラル貢献施設見学会を開催しました！

地域の暮らしに息づく再生可能エネルギー 小水力発電と多彩な太陽光発電

雪のちらつく1月29日（木）に、カーボンニュートラル貢献施設見学会と兼ねて、会員研修会を開催。下記の3つの施設を見学しました。どこも見学の受け入れなどは行っておらず、見ようと思っても見られない場所ばかりです。カーボンニュートラルに実際に貢献するさまざまな再生可能エネルギーの活用を学べる、貴重な体験ができました！

1. 藤田学園豊明校地（カーポート型太陽光発電 水上設置型太陽光発電）
2. 西尾分水工発電所（農業水利施設を利用した小水力発電）
3. 菱池遊水地（堤防法面でのペロブスカイト太陽光発電実験）

藤田学園豊明校地（豊明市）：水上設置型太陽光発電

まず見学したのは、藤田医科大学病院などがある「藤田学園豊明校地」です。世界最先端の医療研究、一人ひとりの患者さんのための治療、災害時においても医療継続を担う災害拠点病院でもあるため、自立したエネルギーの確保が重要です。そこで2025年に豊明市の濁池（農業用ため池）を活用した水上ソーラーが運開しました。

中部電力ミライズの担当の方いわく、池の上にソーラーパネルを浮かべるフロート式で、風の影響を受けづらい山型のパネルが特徴的です。副次的なメリットとして、藻の発生防止などもあるとの事。仮に池の水がなくなっても、水中にある架台が池底に着床し発電が



継続される構造となっているそうです。豊明校地に接した池に降り注ぐ太陽光によって、年間で約 2,900MWh ほどの発電量があります。後述するカーポート型も合わせて、藤田学園豊明校地の電気使用量の約 12%ものエネルギー量を、太陽光発電で賄えるという説明が印象的でした。

藤田学園豊明校地（豊明市）：カーポート型太陽光発電

水上ソーラーに引き続き見学したのが、職員用の駐車場に据えられた屋根型の太陽光発電施設です。駐車場に降り注ぐ太陽光を、両面で発電できるソーラーパネルが利用されています。

建設中のカーポートのものも含めると、年間で約 2,200MWh ほどの発電量になります。

この他にも病院施設の一部のエネルギー供給を司る施設も見学。太陽光発電で得られた電気とともに既存のガスや電気などすべてのエネルギー供給を、専門の管理会社の方たちが 24 時間体制で監視して「災害に強い病院」を実現していました！カーボンニュートラルを達成するうえで参考となる、さまざまな知見を広げられました。



西尾分水工発電所（西尾市）：農業水利施設を利用した小水力発電

次に見学したのは、西尾市にある農業用水を活用した小水力発電施設です。こちらは既存の分水工へ平成 30 年に小水力発電を追加したもので、できて約 10 年ほどです。

震災の関係で県内のあちこちを検討したものの、コストを含めて考えるとここくらいしか候補がなかったそうです。地の利を活かした発電によって、年間 100 万円以上の売電収入があり、施設の維持管理費に充てられます。管理されている矢作川沿岸土地改良区連合の方の説明から、地に足のついた持続性を感じられました。



ただ少雨による水不足では発電できなくなるなど、異常気象や地球温暖化の影響も考える機会となりました。

菱池遊水地（幸田町）：堤防法面でのペロブスカイト太陽光発電実験

最後は次世代の太陽光発電として注目される、ペロブスカイト太陽光発電などを用いた実証実験施設へ。場所は幸田町にある、菱池遊水地（整備中）の堤防法面です。実証期間は 2026 年 3 月までで一般見学もないという、この機会を逃したらもう見られない実験を見学できました。

実験の目的は、河川堤防の機能を損なわない設置方法、発電効率やメンテナンス方法の確認を行うことです。

なんと河川（遊水地）堤防の法面には、これまで太陽光発電設備の設置が検討されていないそうです。発電設備が設置可能な場所が広がれば、再生可能エネルギーのさらなる普及が考えられます。そこでペロブスカイト太陽電池などと法面ブ



ックを一体化した製品を、実際に堤防の裏法面に設置。すでに実験の成果もだいぶ見えてきたそうで、会員のみならずさまざまな質問があり、丁寧に答えていただきました。

種類や形状が違う 4 種類のソーラーパネルを使い、うち 2 種類はペロブスカイト太陽電池が利用されていました。まだ実験中のため詳細は控えますが、ある程度の成功は得られたそうです。シミュレーションと同等の発電電力量が得られたほか、雑草の繁茂の抑制や堤防の断面形状が維持されているなどの結果が得られた模様です。

この実験とは別に、菱池遊水地では、県内初の遊水地空間を活用した太陽光発電を推進していることも学びました。太陽光発電施設があるカーボンニュートラルゾーンをつくり、年間で約 1,100t-CO₂ ほどの CO₂ 削減が可能だと試算されています。発電した電気は災害時の無償電源に使う、官民連携で進めるなど、新たな取り組みを学びました。

見学を終えて：満足ある学びの機会づくりへ

参加された会員のみならず、病院のエネルギーセキュリティのバックヤードを知れたこと、もともと興味があった水力発電やペロブスカイト太陽電池の実物を見られたことなど、満足と学びが感じられるご意見・ご感想をいただきました。

中には「個人では見学が難しい施設にたくさん行けて大変有意義でした」「今回の 3 施設は自治体関係者を含めても、ほとんど視察の受け入れ実績のない施設ばかり」など、防止隊だからこそできる研修会だという評価も多くありました。本企画は自然委員会が中心となってできたものですので、こうした企画立案にご興味のある方は、ぜひ自然委員会にご参加ください！ まずは防止隊事務局にご連絡いただければ幸いです。

お知らせ①：岡崎市地球温暖化防止隊、今後のイベント開催予定スケジュール

イベント名	日程	内容	実施部会
再発見！ 環境フォトコンテスト 2026	9月30日(水)まで募集中	岡崎市内の「緑」や「水辺」などの自然を題材とし、「将来に残したいところ」や今すぐ「改善したいところ」の写真作品を募集しています。優秀作品には、賞状とQUOカードを贈呈予定です。ぜひ奮ってご応募ください！（詳細は、右の岡崎市役所ウェブページをご覧ください）	自然委員会 
水素でミニカーを走らせよう！燃料電池教室	3月7日(土)	MIRAIに積載される、水素を使った燃料電池と同じ構造のものを組み立て、MIRAIのミニカーを走らせます！実際に燃料電池を開発する、トヨタ自動車の社員さんが先生です。対象：小学3～6年生とその保護者（ご興味のある会員は見学できます。詳細は事務局へご連絡ください）	事務局

* 申込方法など詳しい情報は、市政だよりもしくは岡崎市地球温暖化防止隊事務局までご連絡を

お知らせ②：岡崎市地球温暖化防止隊、各種会議開催予定日

役員会：代表・副代表・部会長・会計・監事・アドバイザー

日付	時間	開催場所
3月12日(木)	19時～21時	ZOOM オンライン開催

部会・委員会

部会名・委員会名	日付	時間	開催場所
交通委員会	3月2日(月)	19時半より開催	図書館交流プラザりぶら
広報部会	3月28日(土)	13時半より開催	りぶら活動コーナー
自然委員会	3月12日(木)	19時より開催	ZOOM オンライン開催

上記の各種会議では、それぞれの防止隊の関連イベントや運営に関する協議を行います。興味のある方・見学をご希望の方は、防止隊事務局へご連絡ください。各会の長にご紹介し、参加・見学ができるよう調整いたします。なお開催場所へじかに向かう際は、諸事情により、日付・時間・場所に変更がある場合もございますのでご承知おきください。

【イベント紹介：再発見！環境フォトコンテスト2026】

自然環境への意識啓発を推進するとともに、自然環境保全や地球温暖化防止などのきっかけづくりのために「再発見！環境フォトコンテスト2026」を開催します。

岡崎市内の「緑」や「水辺」等、自然の大切さを再認識できるものを題材とし、「将来に残したいところ」、今すぐ「改善したいところ」の2つのテーマから募集します。入賞者には賞状とQUOカードを贈呈します。岡崎市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも大丈夫です。ご応募お待ちしております！

なお、ご応募にあたっては、岡崎市役所のウェブページの実施要領をご確認いただき、同意の上でご参加ください。



昨年の受賞作品例

市役所ウェブページ
実施要領



岡崎市地球温暖化防止隊事務局

【岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課内】

TEL：0564-23-6786 FAX：0564-47-8710

Eメール ondankataisaku@city.okazaki.lg.jp



2026年2月発行